



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 住友ベークライト株式会社

上場取引所 東

コード番号 4203 URL <http://www.sumibe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 茂

問合せ先責任者 (役職名) 総務本部 コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 吉田 英司

TEL 03-5462-4111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	158,281	7.1	14,229	23.1	14,701	22.2	10,566	52.0
29年3月期第3四半期	147,773	5.8	11,562	36.5	12,032	35.4	6,953	111.7

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 18,074百万円 (78.6%) 29年3月期第3四半期 10,122百万円 (862.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	44.90	
29年3月期第3四半期	29.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	283,254	182,455	63.8
29年3月期	263,742	167,167	62.7

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 180,606百万円 29年3月期 165,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		5.00		5.00	10.00
30年3月期		6.00			
30年3月期(予想)				6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	6.0	18,000	6.6	18,400	6.2	11,500	8.3	48.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	247,952,394 株	29年3月期	247,952,394 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	12,628,786 株	29年3月期	12,615,524 株
----------	--------------	--------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	235,331,495 株	29年3月期3Q	235,347,636 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国は雇用環境・所得水準の改善を背景に着実な成長が続き、欧州でも企業・家計とも好調で穏やかに拡大しました。一方中国はこれまで堅調でしたが、金融・財政引き締めによりやや減速傾向となりました。日本経済においては、底堅い内外需を背景に、景気は穏やかに回復してきました。

当社グループを取り巻く経営環境は、半導体においては、車載向け、I o T向け、産業向けと各分野で需要が高水準に推移しています。自動車においては、米国はハリケーン被害後の代替需要が広がり、欧州も南欧諸国を中心に販売が伸び、中国でも安定して増加しました。国内では新車投入効果もあり、堅調に推移しています。国内の住宅着工件数は横ばいでした。

当社グループはこのような経営環境のなか、CS（顧客満足）最優先のもと、「One Sumibe」を標榜し、顧客へ全社製品のマーケティング活動を行い、顧客との関係を深め、社内外の連携・協業を積極的に実施しております。基盤となるプラスチック保有技術を生かし、より高付加価値な事業構造の構築を目指して、次の基本戦略を掲げ、中長期的な企業価値の向上に向けて取り組んでまいりました。

- ①新製品の早期立ち上げ、創生
- ②成長分野の収益力強化、規模拡大
- ③既存事業の再生、事業転換

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、主に販売数量が増加したことにより、1,582億81百万円と、前年同期比で7.1%、105億8百万円の増収となりました。損益につきましては、連結営業利益は、原料価格の上昇はありましたが、各セグメントでの販売数量増加が寄与し、前年同期比で23.1%増の142億29百万円となり、連結経常利益も、前年同期比で22.2%増の147億1百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比で52.0%増の105億66百万円となりました。

セグメント別販売状況（対前年同期比較）

①半導体関連材料

[連結売上高 38,843百万円（前年同期比 9.8%増）、連結営業利益 7,094百万円（同 22.9%増）]

半導体封止用エポキシ樹脂成形材料は、数量が伸長し、売上高が増加しました。車載向け、サーバー向けや産業機器向けなど、全般に需要が好調でした。半導体用液状樹脂も顧客からの需要が増え、売上高が増加しました。

半導体パッケージ基板材料の「LαZ®」は、売上高は減少しましたが、半導体封止用エポキシ樹脂成形材料との組み合わせで、顧客のより難度の高い課題に対する解決策を提供するという「ワンストップソリューション」活動を展開しております。

②高機能プラスチック

[連結売上高 68,433百万円（前年同期比 8.8%増）、連結営業利益 5,037百万円（同 7.7%増）]

フェノール樹脂成形材料は、欧米の自動車向け、中国の電子部品向けや北米のシェール油井採掘用部品向けなど各地域で数量が増え、売上高が増加しました。工業用フェノール樹脂は、欧米での自動車向けや欧州の建材向けを中心に数量が伸び、さらに原料高に伴う売価は正もあり、売上高は増加しました。

航空機内装部品は、顧客の在庫調整により売上高が減少しました。自動車等成形品は、売上高は減少しましたが、中国での生産拠点の統合が完了しコスト改善が進んでおります。

銅張積層板は、車載用途が好調で売上高が増加しました。

③クオリティオブライフ関連製品

[連結売上高 50,502百万円（前年同期比 3.2%増）、連結営業利益 4,235百万円（同 36.0%増）]

医療機器製品は、既存製品の需要が回復し、売上高が増加しました。低侵襲治療分野に注力しており、血管内治療用デバイス「ステアリングマイクロカテーテル」を始めとする新製品も売上高の増加に寄与しました。

ビニル樹脂シートおよび複合シートでは、売上高が増加しました。医薬品包装向けは顧客の在庫調整で減少しましたが、カバーテープ・ダイシングフィルム・リリースフィルムなどの産業用途が好調でした。鮮度保持フィルム「P-プラス®」は産地野菜向けやカット野菜向けで採用アイテムが増え、売上高が増加しました。

ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板のプレート製品では、建装材に加えサンレンズ用偏光板や絶縁材が増加し、売上高は増加しました。またデコラ製品は、鉄道車両用内装材や不燃メラミン化粧シート「デコライノベア®」などの高機能・高付加価値分野に特化し、売上高は増加しました。

防水関連製品は、リフォーム向けは減少しましたが、集合住宅などの新築住宅向けが増加し、売上高は横ばいでした。

④その他の連結売上高は502百万円となり連結営業利益は167百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

総資産は、前連結会計年度末に比べ195億12百万円増加し、2,832億54百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が56億80百万円、受取手形及び売掛金が54億52百万円、および投資有価証券が44億44百万円増加したことによるものであります。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ42億24百万円増加し、1,007億98百万円となりました。

これは主に、コマーシャル・ペーパーが20億円、支払手形及び買掛金が12億2百万円増加したことによるものであります。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ152億88百万円増加し、1,824億55百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を105億66百万円計上したことに加え、為替換算調整勘定が42億14百万円、その他有価証券評価差額金が30億83百万円増加した一方で、配当金の支払25億88百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,733	55,413
受取手形及び売掛金	42,450	47,902
商品及び製品	11,996	12,536
半製品	4,145	4,051
仕掛品	1,296	1,439
原材料及び貯蔵品	11,737	13,511
その他	7,138	6,362
貸倒引当金	△55	△59
流動資産合計	128,442	141,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,113	31,348
機械装置及び運搬具（純額）	37,596	37,804
その他（純額）	16,776	18,854
有形固定資産合計	85,486	88,006
無形固定資産		
のれん	23,089	22,173
その他	1,647	1,558
無形固定資産合計	24,737	23,731
投資その他の資産	25,075	30,357
固定資産合計	135,299	142,096
資産合計	263,742	283,254

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,258	29,460
短期借入金	5,115	5,090
1年内返済予定の長期借入金	3,480	3,480
コマーシャル・ペーパー	1,000	3,000
未払法人税等	2,549	1,951
賞与引当金	2,747	1,567
その他の引当金	162	32
その他	10,705	11,907
流動負債合計	54,019	56,489
固定負債		
長期借入金	33,537	33,300
退職給付に係る負債	2,855	2,975
その他の引当金	194	194
その他	5,967	7,839
固定負債合計	42,554	44,309
負債合計	96,574	100,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,143	37,143
資本剰余金	35,358	35,358
利益剰余金	88,801	96,779
自己株式	△6,741	△6,753
株主資本合計	154,561	162,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,451	10,535
為替換算調整勘定	3,879	8,093
退職給付に係る調整累計額	△538	△550
その他の包括利益累計額合計	10,792	18,078
非支配株主持分	1,813	1,848
純資産合計	167,167	182,455
負債純資産合計	263,742	283,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	147,773	158,281
売上原価	100,929	108,316
売上総利益	46,843	49,965
販売費及び一般管理費	35,280	35,735
営業利益	11,562	14,229
営業外収益		
受取利息	150	285
受取配当金	389	459
持分法による投資利益	116	29
為替差益	27	78
雑収入	247	151
営業外収益合計	931	1,003
営業外費用		
支払利息	186	198
雑損失	275	332
営業外費用合計	462	531
経常利益	12,032	14,701
特別利益		
固定資産売却益	4	40
投資有価証券売却益	252	189
特別利益合計	256	230
特別損失		
固定資産除売却損	227	170
子会社株式売却損	14	—
投資有価証券評価損	10	88
事業再建関連費用	1,590	93
環境対策引当金繰入額	110	—
その他	1	12
特別損失合計	1,955	365
税金等調整前四半期純利益	10,333	14,567
法人税、住民税及び事業税	2,435	2,703
法人税等調整額	745	1,118
法人税等合計	3,181	3,822
四半期純利益	7,152	10,745
非支配株主に帰属する四半期純利益	199	178
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,953	10,566

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	7,152	10,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,024	3,083
為替換算調整勘定	1,004	4,272
退職給付に係る調整額	△14	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△44	△26
その他の包括利益合計	2,969	7,329
四半期包括利益	10,122	18,074
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,871	17,853
非支配株主に係る四半期包括利益	251	221

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ イオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,391	62,919	48,922	147,232	540	147,773	—	147,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	97	0	98	—	98	△98	—
計	35,391	63,016	48,922	147,330	540	147,871	△98	147,773
セグメント利益	5,772	4,676	3,114	13,563	147	13,710	△2,147	11,562

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

2 「セグメント利益」の調整額△2,147百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,155百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	半導体 関連材料	高機能 プラス チック	クオリテ イオブラ イフ関連 製品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,843	68,433	50,502	157,778	502	158,281	—	158,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	116	0	116	—	116	△116	—
計	38,843	68,549	50,502	157,895	502	158,397	△116	158,281
セグメント利益	7,094	5,037	4,235	16,367	167	16,535	△2,305	14,229

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験研究の受託、土地の賃貸等を含んでおります。

2 「セグメント利益」の調整額△2,305百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,307百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究費用等であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

各報告セグメントの主要な製品および役務の内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品および役務の内容
半導体関連材料	半導体封止用エポキシ樹脂成形材料、感光性ウエハーコート用液状樹脂、半導体用液状樹脂、半導体基板材料
高機能プラスチック	フェノール樹脂成形材料、工業用フェノール樹脂、成形品、合成樹脂接着剤、フェノール樹脂銅張積層板、エポキシ樹脂銅張積層板、航空機内装部品
クオリティオブライフ関連製品	医療機器製品、メラミン樹脂化粧板・化粧シート、ビニル樹脂シートおよび複合シート、鮮度保持フィルム、ポリカーボネート樹脂板、塩化ビニル樹脂板、防水工事の設計ならびに施工請負、バイオ製品